

サンコロナ小田

環境対応のオーガニックジー強化

ワッシャー加工タイプも

サンコロナ小田（大阪市中心区）は、サステイナビリティーに対応するオーガニックの提案を強めている。ペットボトル由来再生ポリエステルを100%使った「リサイクルパレットオーガニック」を展開しているほか、

2021年にはワッシャー加工を施したオーガニックの販売も始める。フランスの服地見本市「ブルミエール・ヴィジョン」に出展している同社は「欧州では再生ポリエステルを使った生地が注目されるなど、環境配

慮は当然になっている」と強調。日本でも無視できない大きな流れになると予想し、サステイナブル素材の打ち出しを継続強化する。



左が再生ポリエステル使い。白度や品位は変わらず

「&」(ア)ンドプラ
スから生
まれたペッ
トボトル由
来再生ポリ
エステルを
使用すこと
で環境に
配慮した広
幅オーガニ

ジーだ。適度なハリ・コシ、サンドエフェクトと呼ばれる生地表面の粒子状の光沢などを持つ。一般的なペットボトルリサイクル繊維は、白度が問題視されるが、アンドプラスの活用でその問題を解消し、風合いや品位もパーシジョンポリエステルを使用した生地と変わらない。トレーサビリティを明示できることも

利点と話す。30色を備蓄し、1層から対応する。再生ポリエステル使いでは「リサイクルマイクロリップルオーガニック」の販売を来年の早い段階で始める。ワッシャー加工を施し、表面にシボを付与したファンシーなオーガニックで、16色展開を予定している。サステイナブル対応は順次増やしていく。